

## ■2月25日 菊池高校演劇部 プロが演技を直接指導

本市七城町出身で劇団ゼーロンの会代表の上村清彦さんが、母校である菊池高校で演劇部を指導。演劇部6人がフィジカルトレーニングやハミング、笑いといった表現のトレーニングなど、演劇の基礎を学びました。



部長の平川愛己奈さんは「ライバル校を超えるように頑張りたい」と抱負を述べました

## ■3月11日 隈府小学校 触って学んでプログラミング

令和2年度のプログラミング教育必修化に向けた教育環境づくりの一環として開催しました。(株)ソフトバンクの大型ロボット「Pepper」を活用しプログラミングに挑戦。「Pepper」の動きや発言に児童は歓声を上げていました。



参加した児童は「難しかったけれど、プログラミングが作れて楽しかった」と話しました

## ■3月12日 菊池菓子組合 桜のお菓いで菊池を満開にしたい

きくち観光物産館と菊池菓子組合が試食会を開催しました。菊池市ふるさと創生市民広場の完成に合わせ、菊池の桜のPRを目的に企画。10社計28種類の桜を使ったお菓子が並べられ、会場は一足先に満開となりました。



お菓子へのこだわりや思いを語り、お互いに試食や意見交換を行う参加者

## ■2月24日 「域学連携」事業活動報告 みんなで連携して考えよう

「域学連携」地域づくり実行委員会が生涯学習センターで活動報告会を開催。東海大学によるヤーコンを活用したまちづくりや、県立大学による田島地区の今後についての報告などがあり、活発な意見交換が行われました。



大学・高校・地域づくり団体が互いのアイデアを出し合い、連携して活動しています

## ■2月27日 玉祥寺このみや踊り 約560年も続く民俗芸能

玉祥寺の春日神社境内で開催。女装した男性2人が太鼓を叩きながら踊る民俗芸能で、神の前で豊作を祈願する新春行事として伝わっています。境内ではたき火がたかれ、訪れた人に甘酒やおにぎりが振る舞われました。



「良い体験でした」と語った踊り手の富田浩徳さん(玉祥寺)と松永伸護さん(玉祥寺)

## ■3月12日 泗水東小学校 ワンダーぶんこが卒業生へエール

泗水東小で読み聞かせを行う「ワンダーぶんこ」(内野さと恵会長)が、同校を卒業する6年生を送る会を開催。本の読み聞かせや歌の披露の後「周りの人を助けられる人になってほしい」など、心のこもったエールが送られました。



児童からは「成長を見守ってもらいうれしかった」といった感謝の言葉が伝えられました

## ■2月23日 フューチャーラボKIKUCHI 若者が輝くまちづくりを目指して

9月から実施してきた「フューチャーラボ KIKUCHI」の受講生による事業プラン発表会を開催。受講生からは数多くの魅力あるプランの発表がありました。実現に向けてすでに動き始めている事業プランも多く、今後の展開が期待されます。



「修了証」を持ち笑顔を見せる受講生の皆さんと特別講義を実施した指出一正さん(左上)

## ■2月26日 菊池教育会里仁賞 小中学生の善行をたたえて表彰

菊池教育会(木原昭三会長)が菊池郡市の小中学生の善行をたたえ表彰しました。市内からは栗山温さん(泗水小6年)、古田大智さん(菊池南中2年)が受賞。木原会長は「思いやりを持ち、良い世の中を創ってほしい」と話しました。



表彰状を持つ栗山さん(前列左から2人目)と古田さん(前列右から2人目)

## ■3月11日 熊本県トラック協会 市内小中学生に交通安全用品を贈呈

県トラック協会菊池支部(藤木徳昭支部長)が市内の小中学生に反射材付き巾着袋を贈呈。同会が社会貢献事業として毎年行っており今年で10回目。藤木支部長は「子どもにとって安全で暮らしやすい道を目指したい」と話しました。



目録を持つ中島綱紀菊池教育事務所長(左)と藤木支部長(中央)、下川公一郎副支部長(右)

■3月14日 道の駅泗水養生市場  
春の道の駅弁新発売発表会

孔子公園観光交流施設で、弁当の新発売発表会を行いました。春ならではの食材を使ったお花見弁当や、バランスを考えたヘルシー志向の弁当など6グループが弁当を出品。価格やポイントを説明しながら試食が行われました。



参加者は「見た目も鮮やかで味も最高。お花見が今から楽しみです」と話しました

■3月14日 菊池市かわまちづくり  
地域と連携して河川とまちを整備

国土交通省の「かわまちづくり」支援制度に本市の計画が登録され、市役所で伝達式が行われました。隈府市街地と玉祥寺の間を流れる迫間川を活用した計画で、今後、フットパスや水辺のアクセス路などの検討が進められます。



登録証を持つ江頭市長(中央)と検討協議会委員や国土交通省など関係者の皆さん

■3月18日 消防団協力事業所  
災害発生時の協力体制の充実を

平成25年度から市が認定を行っている「消防団協力事業所表示制度」。新たに世紀建設(株)(野村政史代表取締役)を認定し、市役所にて表示証交付式を行いました。今後、災害発生時の協力体制の充実が期待されます。



左から江頭市長、野村代表取締役、赤星和彦菊池市消防団長

■3月13日 協定調印式  
小学校プログラミング教育で連携

菊池市役所で、熊本高等専門学校と小学校プログラミング教育に関する協定の調印式が行われました。令和2年度から完全実施となるプログラミング教育にむけて、教職員の指導力向上を図るなど、連携して準備を進めます。



協定書を持つ江頭市長(左)と荒木啓二郎熊本高等専門学校長(右)

■3月14日 KDSグループ  
子どもたちを交通事故から守りたい

KDSグループ(永田佳子代表取締役)が、市内小学校の新入生へ傘450本を贈呈しました。雨天時の交通事故から子どもたちを守るために実施しており今年で6回目。本市のほかにも、県内市町村へ約1万1千本贈呈されています。



「日本を支える大切な命を、交通事故から守っていききたい」と語る永田代表取締役

■3月16日 旭志図書館感謝祭  
これまでの利用に感謝を込めて

旭志多目的研修センターの改修工事に伴い休館する旭志図書館の利用者に感謝を込めて実施。絵本作家の長谷川義史さんを招いてのワークショップやクッキー作り教室などが行われ、100人を超える来場者でにぎわいました。



長谷川さん(中央)と来場者で記念撮影も行いました

■3月13日 協定調印式  
地域社会発展を目的に協定を締結

菊池市役所で、九州ルーテル学院大学と包括的連携に関する協定の調印式が行われました。不登校・いじめなどさまざまな問題に直面している児童・生徒の理解や教師・学校への教育支援、健康面での連携活動を予定しています。



協定書を持つ江頭実市長(左)と広渡純子九州ルーテル学院大学長(右)

■3月14日 教育論文表彰式  
活気を感じる力作ぞろい

市教育委員会が主催。計58点の教育論文はどれも力作ぞろいで、本市の充実した教育の一端をうかがうことができました。学校論文の部では戸崎小学校、個人論文の部では七城小学校の藤田圭教諭が教育長賞を受賞しました。



表彰を受ける戸崎小学校の上原正士教諭

■3月16日 幻の都 城下町菊池  
南北朝時代を再現した絵を解説

3月末で地域おこし協力隊を退任する橋本眞也さん(岡)が中央公民館で講演会「菊池武光公時代の菊池・真の姿」を開催。橋本さんは50点以上にわたる絵画連作「幻の都 城下町菊池」を制作しており、今後も発信していく予定です。



絵画を用いながら、武光が生きた時代の菊池や取材エピソードなどを語りました